

都市部における生活習慣病対策 保健事業の推進

～京都市特定健康診査・特定保健指導モデル実施をとおして～

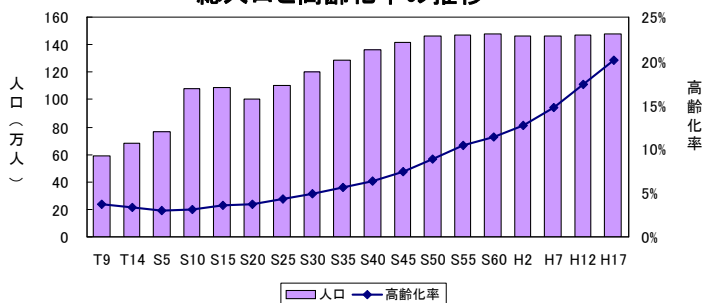


平成20年5月8日(木), 22日(木)
京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課
木村 好美

京都市の概況

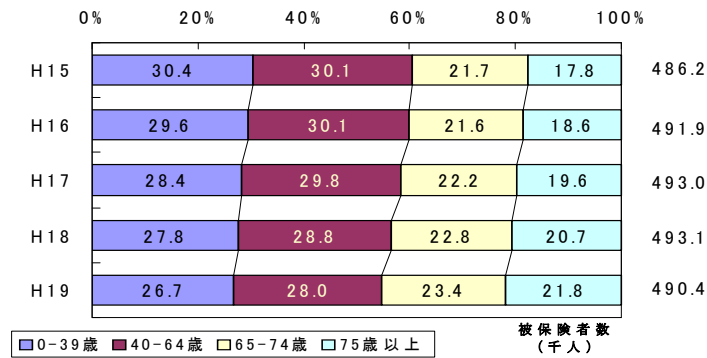
- 人口(11行政区) 1,464,990人(H20.4)
- 世帯数 666,636世帯(H20.4)
- 高齢化率 20.8%(H18.10)
- 平均寿命 男性 79.1歳, 女性 85.8歳

総人口と高齢化率の推移



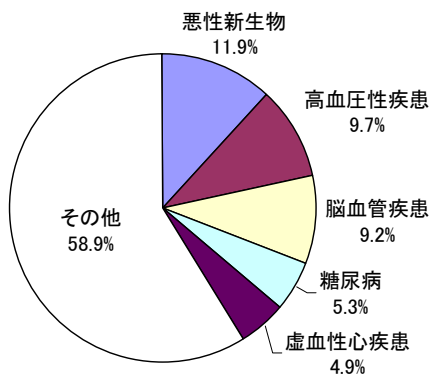
京都市国民健康保険の概況

- 被保険者数 490,390人(H19.9)
うち 40歳～74歳 252,193人

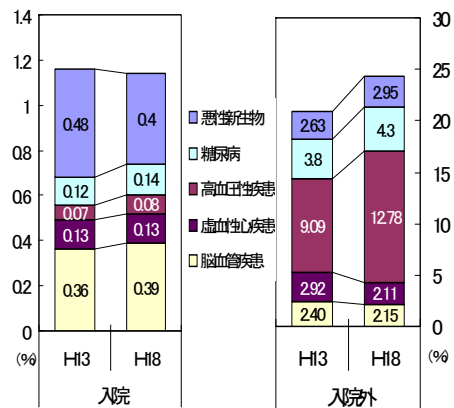


主要疾病別医療費の状況

1人当たりの診療費の割合
【生活習慣病に分類される疾患】



疾病分類別受診率の推移



特定健康診査・特定保健指導 モデル実施について

① 目的

- 平成20年度から京都市国民健康保険が実施する特定健診・特定保健指導の普及啓発
- 特定保健指導の対象者や課題の把握
- 効果的な保健指導を実施するための「京都市特定保健指導マニュアル」の策定

② 対象と方法

- 平成19年5月～6月に、各行政区1箇所、全11会場の基本健康診査の集団健診会場において、40歳から74歳までの受診者を対象に腹囲測定と特定健診に係る質問を追加して実施
- 受診者の特定健診結果を階層化し、特定保健指導の対象者を抽出
- 対象者には、保健所の保健師・管理栄養士等が標準的な保健指導プログラムの内容を基に保健指導を実施

③ 受診者の状況

受診者数 1,771人(うち,約7割が京都市国保加入者)

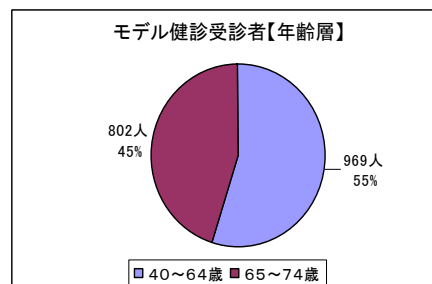
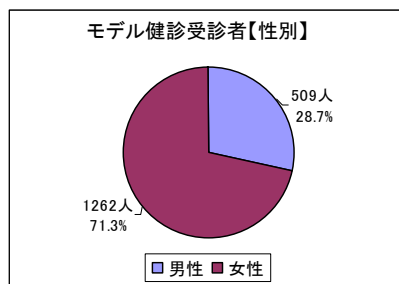
<性別> 男性 509人(28.7%)

女性 1,262人(71.3%)

<年齢層> 40歳~64歳 969人(54.7%)

65歳~74歳 802人(45.3%)

平均 61.7歳



④ 階層化の状況

・ 特定保健指導対象者 273人

動機付け支援 211人

: 男性 117人, 女性 94人

積極的支援 62人

: 男性 39人, 女性 23人

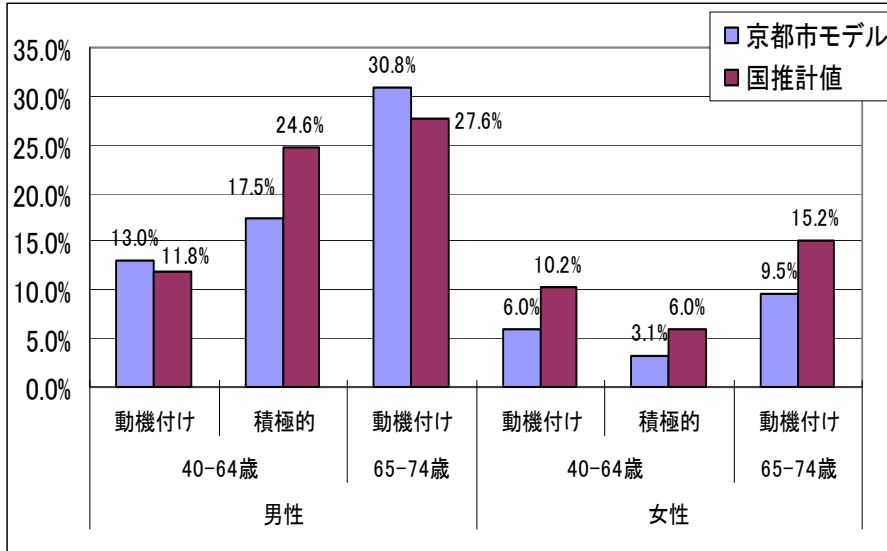
男性

年齢層	支援種別	モデル実施		国推計値
		割合	人数	割合
40-64歳	動機付け支援	13.0%	29/223	11.8%
	積極的支援	17.5%	39/223	24.6%
65-74歳	動機付け支援	30.9%	88/285	27.6%
	積極的支援	-	-	-

女性

年齢層	支援種別	モデル実施		国推計値
		割合	人数	割合
40-64歳	動機付け支援	6.0%	45/746	10.2%
	積極的支援	3.1%	23/746	6.0%
65-74歳	動機付け支援	9.5%	49/517	15.2%
	積極的支援	-	-	-

特定保健指導の対象者率と国推計との比較



特定保健指導モデル実施について

① 申込み状況

- 特定保健指導へ、自ら参加申込みがあった者は、動機付け支援で20名(9.5%)、積極的支援対象者5名(8.10%)であった。
- 保健指導の利用を勧奨した結果、動機付け支援で65名(30.8%)、積極的支援対象者13名(21.0%)の申込みであった。

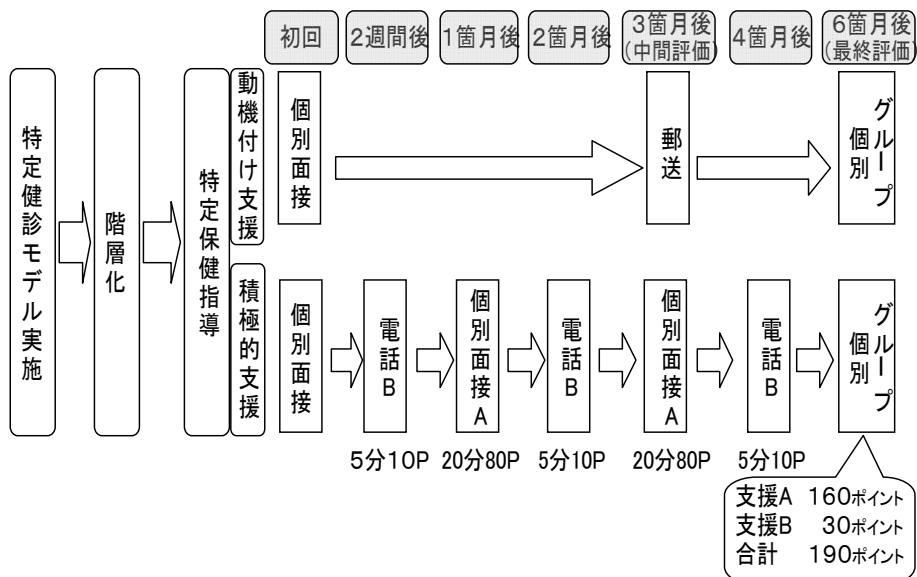
特定保健指導モデル実施参加申込み状況

動機付け支援対象者					
対象者	申込みあり				申込みなし
	自発的申込み	利用勧奨後申込み	受診勧奨後申込み		
211	65 30.8%	20 9.5%	37 17.5%	8 3.8%	146 69.2%

積極的支援対象者					
対象者	申込みあり				申込みなし
	自発的申込み	利用勧奨後申込み	受診勧奨後申込み		
62	13 (2) 21.0%	5 8.1%	7 (2) 11.3%	1 1.6%	49 79.0%

※ ()内は、服薬により情報提供レベルとなった者の件数(別掲)。

② 特定保健指導モデル実施方法



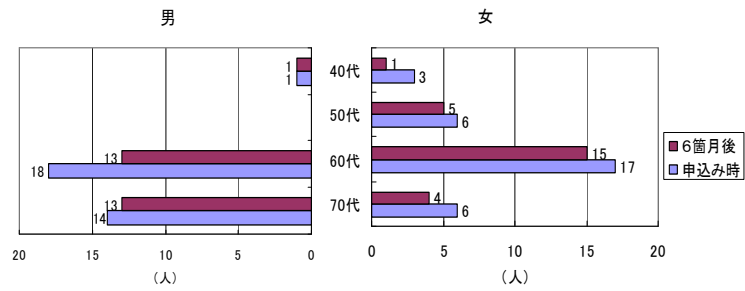
③ 動機付け支援対象者

- 参加申込み者数 65名 : 男 33名, 女 32名
- 中間評価終了者数 55名(継続率 84. 6%)
: 男 29名, 女 26名
- 最終評価終了者数 52名(継続率 80. 0%)
: 男 27名, 女 25名
- 途中中断者数 13名 : 男 6名, 女 7名
(ただし, 初回面接前にキャンセルがあった者4名を含む)

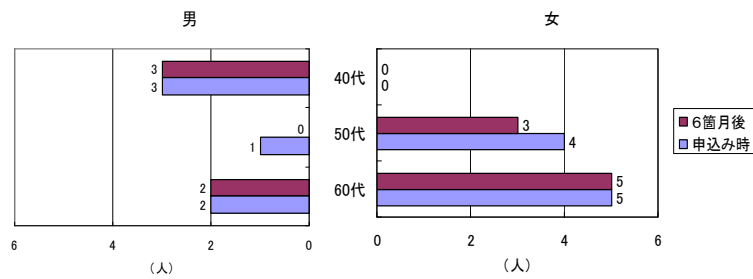
④ 積極的支援対象者

- 参加申込み者数 15名: 男 6名, 女 9名
- 中間評価終了者数 14名(継続率 93. 3%)
: 男 6名, 女 8名
- 最終評価終了者数 13名(継続率 86. 7%)
: 男 5名, 女 8名
- 途中中断者数 1名 : 男 1名, 女 1名

年齢区別参加人数【動機付け支援】

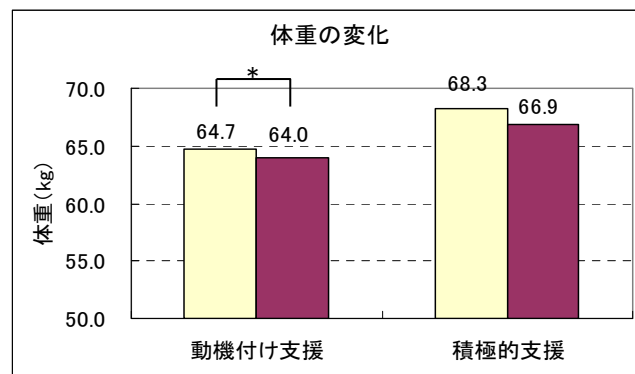


年齢区別参加人数【積極的支援】



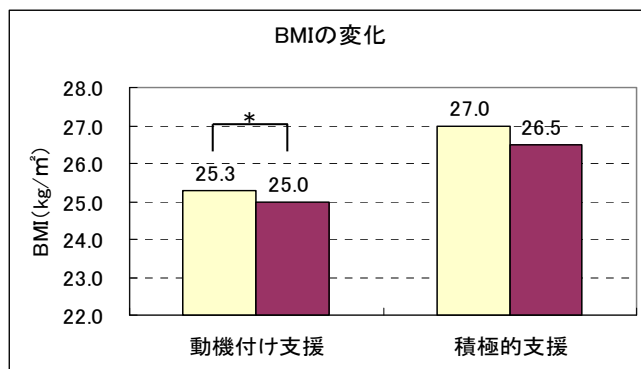
特定保健指導の結果(中間評価時点)

① 体重の変化



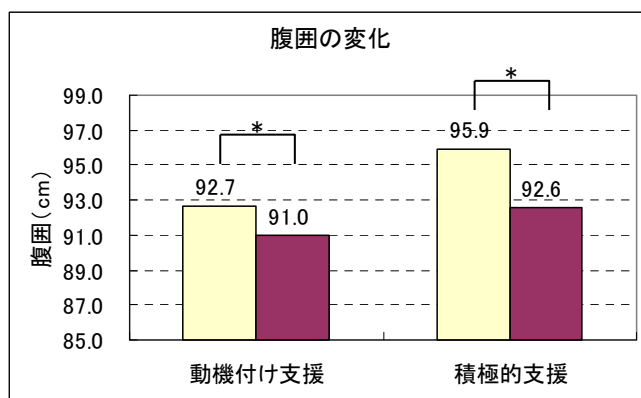
	n数	初回	中間	変化量	p値
動機付け支援	54	64.7	64.0	-0.69	0.024
積極的支援	14	68.3	66.9	-1.42	0.072

② BMIの変化



	n数	初回	中間	変化量	p値
動機付け支援	54	25.3	25.0	-0.33	0.011
積極的支援	14	27.0	26.5	-0.50	0.070

③ 腹囲の変化



	n数	初回	中間	変化量	p値
動機付け支援	53	92.7	91.0	-1.65	0.001
積極的支援	14	95.9	92.6	-3.33	0.013

行動変容ステージの変化

① 食事

<動機付け支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期	1			1		2	50.0%
	関心期		8		9	2	19	57.9%
	準備期	1	3	3	17	1	25	72.0%
	実行期				1		1	—
	維持期		2	1		5	8	—
	総計		2	13	4	28	8	55

<積極的支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期						0	—
	関心期		2	1	2		5	60.0%
	準備期		2	1	3		6	50.0%
	実行期				3		3	—
	維持期						0	—
	総計		0	4	2	8	0	14

② 運動

<動機付け支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期							—
	関心期		6	1	5		12	50.0%
	準備期		2	3	8		13	61.5%
	実行期		1		2	3	6	—
	維持期	1	1	1	2	18	23	—
	総計		1	10	5	17	21	55

<積極的支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期	1					1	—
	関心期		1	1	4		6	83.3%
	準備期			1	3		4	100.0%
	実行期				2		2	—
	維持期					1	1	—
	総数		1	1	2	9	1	14

③ 飲酒

<動機付け支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期	1	1				2	50.0%
	関心期		3		2	2	7	57.1%
	準備期		2	1	1	1	5	40.0%
	実行期					2	2	—
	維持期		2			8	10	—
	総計		1	8	1	3	13	26

<積極的支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期	1			1		2	50.0%
	関心期				1		1	100.0%
	準備期		1				1	0.0%
	実行期				1		1	—
	維持期						0	—
	総数		1	1	0	3	0	5

④ 喫煙

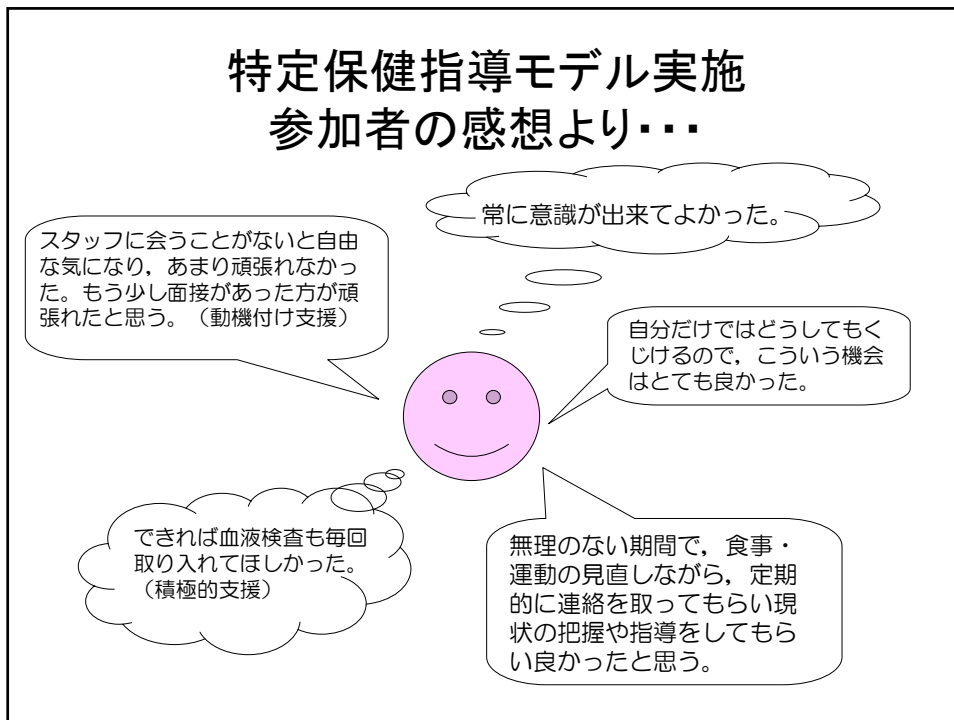
<動機付け支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期		1				1	100.0%
	関心期		5		1		6	16.7%
	準備期			1			1	0.0%
	実行期				1	1	2	—
	維持期					9	9	—
	総計		1	6	1	2	9	19

<積極的支援>

		中間評価					総計	改善割合
		無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期		
初 回 面 接	無関心期	1					1	0.0%
	関心期		3				3	0.0%
	準備期							0.0%
	実行期							—
	維持期					1	1	—
	総数		1	3			1	5

特定保健指導モデル実施 参加者の感想より・・・



平成20年度からの取組み

● 京都市国民健康保険では・・・

特定健診受診場所		特定保健指導利用場所
① 医療機関で受診 (個別医療機関方式)(委託)	⇒	① 特定健康診査を受診した医療機関(委託)
② 小学校等の会場で受診 (集団健診方式)(委託)	⇒	② 各区保健所・支所, 京北出張所(直営※) ② 特定保健指導限定実施機関(委託)
③ 人間ドックとして実施 (人間ドック健診方式)(委託)	⇒	③ 人間ドックを受診した健診機関(委託)

※直営実施は、保険年金課が実施する。面接等の会場には、各区保健所及び支所, 京北出張所を利用する。

- 受診者の利便性の確保と、各検診を同時に実施し総合的な健康管理を目指すために、集団健診を実施する。

集団健診会場における健康診査等

実施項目	対象
特定健康診査等	40-74歳の市国保加入者
	75歳-の後期高齢者医療保険加入者
	40歳-の生活保護受給者
生活機能評価	上記の健康診査対象者のうち65歳以上で要介護・要支援認定を受けていない者
胸部(結核)検診	15歳-の市民
肺がん検診	40歳-の市民
大腸がん検診	40歳-の市民

- 直営の特定保健指導体制
保健師13名(うち、担当課長1名(兼務)、係長2名)・管理栄養士4名・医師1名(兼務)

● 保健所(11保健所3支所)では・・・

メタボリックシンドロームに着目したポピュレーションアプローチとして、

青年期健康診査／禁煙相談・禁煙支援
健康づくりセミナー(健康教育)／健康相談
ウエストスリムクラブ／健康づくり出前教室
高校生防煙教室／地域健康づくりグループ育成
「京から始めるメタボビクス」作成 等

全ての市民を対象に、健康づくり運動の推進を図っていく。

まとめ

- ① 保健指導開始後約3箇月の時点において、身体状況、行動変容ステージの変化から一定の指導効果があった。6箇月後においても、この結果を維持・継続できるような手法を検討していく必要がある。
- ② しかし、体重・腹囲の減少はまだ十分とはいえず、特に禁煙や運動の定着が低い結果であった。今後、効果的な減量支援を効率よく行えるように指導技術を向上することが必要である。
- ③ 特定保健指導への自発的な参加申込み率は低く、利用勧奨の仕組みづくりが必要である。

- ④ 特定保健指導対象者で、受診勧奨判定値に該当する者については、生活習慣改善の必要性が最も高い者であるため、受診後、服薬開始されなかった場合は、主治医との連携を図り、特定保健指導の勧奨を行うなどの対応が必要であると考えられる。
- ⑤ 特定健診・特定保健指導を実施するにあたり、医療保険者だけの取組みだけではなく、ポピュレーションアプローチとの連携を図り、総合的に実施していくことが重要である。

おこしやす メタボ健診
へらしませんか 内蔵脂肪
～応援します 京から始める健康づくり～

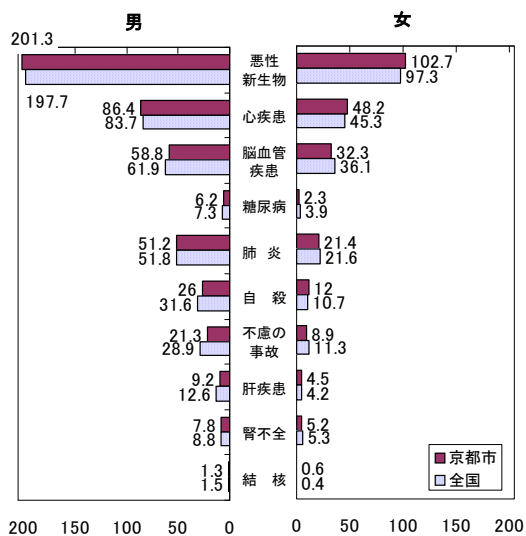
今日



ご清聴ありがとうございました

<参考資料>

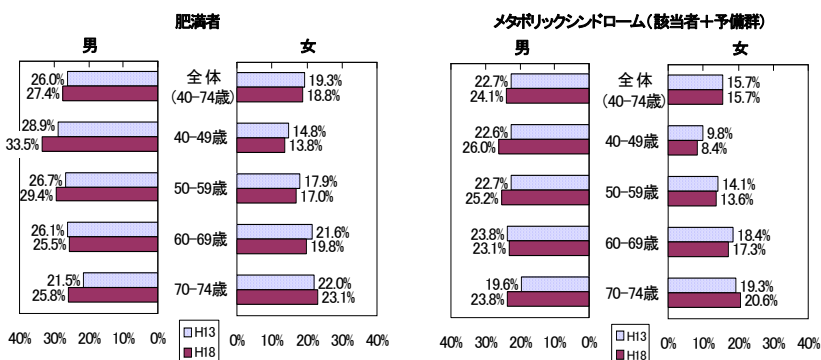
年齢調整死亡率(人口10万対)
【平成17年度:京都市・全国の比較】



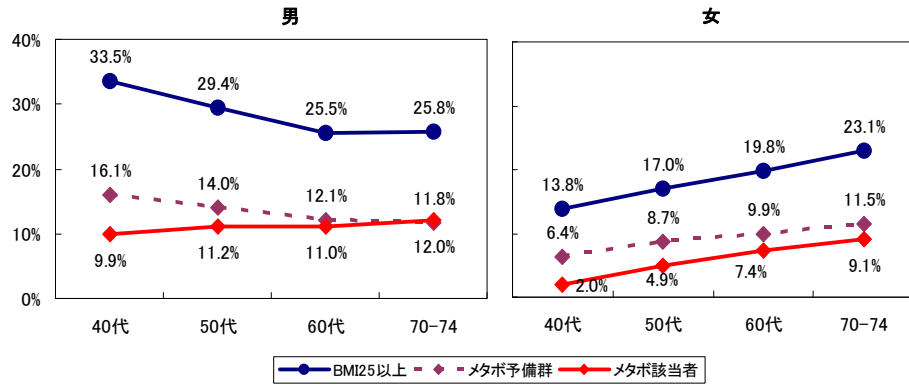
基本健康診査の状況

- 平成18年度受診者数 101,438人

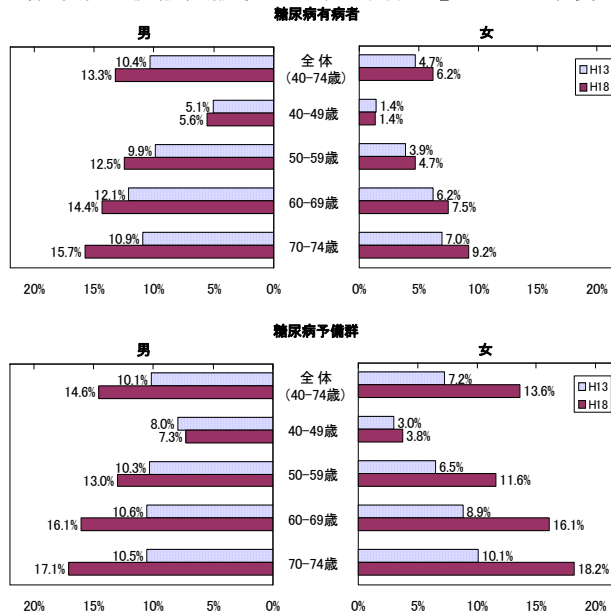
BMIによる肥満者、メタボリックシンドロームの健診受診者に対する割合
【H13・18年度比較】



BMIによる肥満者, メタボリックシンドロームの健診受診者に対する割合
【H18年度:年齢層による推移】



糖尿病の健診受診者に対する割合 【H13・18年度比較】



動機付け支援参加者の状況

		人数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
男	年齢(歳)	29	41	75	68	6
	BMI(kg/m ²)	29	20.1	32	24.9	3.0
	腹囲(cm)	29	85	105.5	92.1	4.9
女	年齢(歳)	26	45	74	63	7
	BMI(kg/m ²)	26	21.9	32.3	26.0	2.3
	腹囲(cm)	26	83	101	93.3	4.7
総数	年齢(歳)	55	41	75	66	7
	BMI(kg/m ²)	55	20.1	32.3	25.4	2.7
	腹囲(cm)	55	83	105.5	92.7	4.8

積極的支援参加者の状況

		人数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
男	年齢(歳)	6	40	64	52.5	9.8
	BMI(kg/m ²)	6	22.6	29.8	25.7	2.6
	腹囲(cm)	6	85.3	105	94.4	6.9
女	年齢(歳)	8	57	63	59.9	2.0
	BMI(kg/m ²)	8	23.6	32.3	27.9	3.4
	腹囲(cm)	8	87	105.4	97.1	7.1
総数	年齢(歳)	14	40	64	56.7	7.3
	BMI(kg/m ²)	14	22.6	32.3	27.0	3.2
	腹囲(cm)	14	85.3	105.4	95.9	6.9